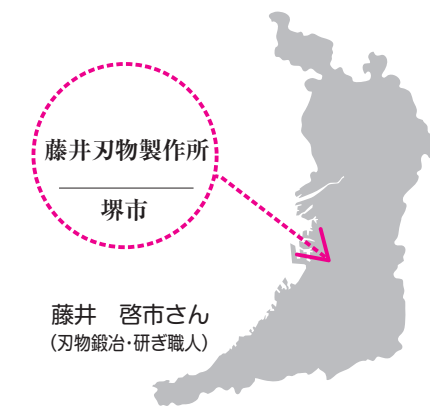


うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 03



藤井刃物製作所
堺市
藤井 啓市さん
(刃物鍛冶・研ぎ職人)

創業103年 受け継がれてきた技術
「庖丁づくり体験」も好評

お客さんの笑顔が
職人としてのよろこびに!

藤井さんの仕事場から満足そうに出てきた若い4人のイケメン。「今日は庖丁づくりの体験ですか?」と声をかけると、「奥さんにサプライスプレゼント!コレでおいしい料理を作ってもらおうと思っ...」との返事。ここ藤井刃物製作所は家庭用の庖丁づくりを体験できる全国でも数少ない製作所。というのも、庖丁づくりの過程では、鍛冶職人や研ぎ職人など複数の専門職人が関わって1本の庖丁ができるので、ひとつの製作



藤井刃物製作所
堺市堺区北旅籠長西1丁2-21
TEL 072-232-4097
庖丁づくり体験は5人程度から家庭用文化庖丁が作れます。1人4200円~。くわしくは、ネットで「藤井刃物製作所」を検索してください。

所で全課程ができるところが少ないのです。1年に20人ぐらいからスタートしたこの体験募集。始めてから20年を経て、最近では120人から150人ぐらいの体験があります。この体験を終えたお客さんの満足そうな笑顔に一番の喜びを感じるという藤井さん。

庖丁がささえる 日本の食文化

家庭用の庖丁の普及は、当然食文化に左右されます。現在国内では食生活が西洋化してしまい、祖父から続いて3代目、創業103年のこの製作所も、出荷量が最盛期の約4分の1となっています。しかし、海外では健康食として日本食がブームとなり、切れ味が良い日本の庖丁が愛用され始めています。昔から受け継がれてきた日本の食文化が見直されている今、その伝統の技術が、少しずつインターネットで若者にも広がっています。

アメリカ大リーグ。オークランド・アスレチックスは100年以上の歴史を誇り、ワールドシリーズ9回優勝を誇る名門チーム。1990年代に選手の年俸が高騰して財政悪化、主力選手の移籍などで低迷が続き、この時期にチームのゼネラルマネージャーとして常勝チームづくりに力を発揮したのがピリー・ビン。ピリーはセイバートリクスという、野球をデータや統計学を利用して客観的に分析し、選手の評価や戦略を考える処方を導入しました。

統計と分析で野球を制す

ピリーの手法によって、2002年のシーズンは快進撃で19連勝を重ねていました。リーグ新記録がかかったロイヤルズ戦で11-0の大量リ

ード。しかし相手の猛攻で9回に11-11に。そして9回裏、サヨナラホームランで勝ちアメリカカンファレンス新記録となる20連勝を達成し、この年はリーグ最低の年俸額で最強球団をつくりあげました。この史実にもとづいたのがこの映画です。ピリーの戦略は、野球を知っているものなら常識であるはずのバント・盗塁の効力を否定するなど、しばしば野球の従来の伝統的価値観を覆すものとしてチーム内から猛反発を受けながらも、実績で説き伏せていく姿が描かれています。「野球は筋書きのないドラマ」だからおもしろいという声も聞こえてきます。ピリー・ビンにブラッド・ピットが演じています。

Culture Navi かるチャーナビ

平和の種まく人 九条の花を咲かせよう

伊東 憲秀さん(大阪市大正区・順教寺住職)

商店街と町工場や住宅が混在する下町の雰囲気がこの大正区・泉尾。順教寺住職の伊東さんは「『人が人を殺生してはならない』というお釈迦様の教えは、すなわち『いのちを尊重すること』であり、日本国憲法そのもの」と語ります。大阪宗教者9条ネットワークでは、学習会や平和パレードを企画して檀家さんと参加。順教寺では、年2回本堂で開く



「いのち輝け!」は、お釈迦様の教えでもあり憲法9条そのもの、と語る伊東憲秀さん

「平和コンサート」や「沖縄をテーマとするひとり芝居」などのイベントを開催。そして、寄席やバーベキュー大会なども、平和だからこそ味わえる「楽しさ」を感じてもらえたら嬉しい...と、企画している伊東さん。「外なる平和があつてこそ、内なる平和が成り立つ」。ひとりの宗教家が「命を大事にする政治」を支持することは、何ら不思議はないのです。伊東さんのもうひとつの肩書きは「養育里親」。5歳で父親をなくし、苦勞して育ててくれた母親が「親と住めない子どもを引き取ってやりたい」と言っていたことを思い出し、引き受けて30年。順教寺山門に掲げられる「いのち輝け!」のメッセージそのものの生き方をされている伊東さんです。

宗教家が「命を大事にする政治」を支持する...ということ

いまも心に響く 名詩・名歌・名語録

「冬が来た」の冒頭の一節です。冬は、凜とした寒さと厳しさをともなうて、厳然としてやってきます。冬を、自分を励まし鍛え、進んで苦難に立ち向かわせるエネルギーの源泉としてとらえています。一見、無造作で平明でありながら、生命の躍動感と強い意志の現れを示しています。高村光太郎は「冬の詩人」といわれるほど、冬の詩をたくさんつくりました。

きっぱりと冬が来た

高村 光太郎 (詩人、彫刻家)

子どもは

父母の行為を映す鏡である

スペンサー (イギリスの哲学者)

子どもは産まれて初めて接する人間である父母をみて育ちます。子どもは、無意識にまねているのですから、親は責任重大です。親たるもの、子をしかる前にまず、自らをかえりみることが必要でしょう。ハーバート・スペンサー(1820~1903)は、社会学の創始者の一人として有名ですが、「進化」や「適者生存」という言葉はダーウィンでなくスペンサーがつくったものです。